

□ アナリスト週間相場予想

		
江崎		
西		

Pick up News

〔注目スケジュール〕

- 7/18 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉明細
- 21 米景気先行指数
- 23 米地区連銀経済報告、米MBA住宅ローン申請件数
- 24 米新規失業保険申請件数、米中古住宅販売件数
- 25 米耐久財受注、米新築住宅販売件数
CFTC建玉明細

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京金先限日足である。当面の目標高値であった3322円を一旦示現して下降に転じ、現在3300円スレスレの所を競っている。さて、日足で見る限りはまだ押しを入れながら上昇トレンド継続の形であるが同じ貴金属セクターである白金はチャート的にも明らかに下降トレンドに入っており、原油や穀物も調整を余儀なくされている現状では素直に買い進んでいくのは適当でないと感じる。よって7/17安値3274円を維持できないようであれば買い玉は撤退、新規売りに転じるのが良いと思われる。

一方白金であるがボリンジャーバンドを被せた日足チャートは綺麗に下降バンドウォークに突入しており、次なるサポートライン5950円(5/2安値)を伺う体制が整っているように感じる。日足に一目均衡表を被せてみても7/16に日足が雲の支持帯を下方ブレイクしたのを加えて3役(基準一転換ペア、遅行一実線ペア、雲一実線ペア)は全て逆転状態。明らかに買い方不利の形が完成している。多少の戻しは即売り参入の状態といつてよい。こちらは買い持ちの即時撤退が賢明であろう。売り参入を考える場合は標準偏差マイナス2σに実線が戻った所を狙うのが下降バンドウォーク時の売り方の基本。今週も売り方針は変わらず。(7/18 前引け現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

貴金属相場は明暗を分ける格好となり、金と白金では大きく様相が異なっている。白金に関しては工業品の意味合いが強いこともあり、米国を始めとする世界経済への雲行きが一段と怪しくなってきたこと、原油価格の急落などが上値を圧迫している状況。自動車触媒に対する代替品の開発報道なども手伝って、何かと供給不足イメージが薄らいでいるのが現状である。実際、需要がどの程度変化しているかを察するのは難しいが、市場マインドの変化は簡単には変わりそうにない。とは言っても、売られ過ぎ感も強く、短期的にはリバウンドも期待できよう。

一方、金に関しては、原油下落こそマイナス材料となるが、米国では金融機関の決算のピークであり、まだ信用不安一掃にはほど遠い状況。米ドルが主要通貨に対して戻りを見せているが、中長期トレンドを覆すのは難しいと見るべきで、戻りには限界があると言えよう。ドル高が短期間で終息する可能性を踏まえれば、金に対しては積極的には売り込みづらい局面が待ち受けていると考えたい。ただ、原油が一段安となれば話は別となり、買い玉も利食いを優先しておくことが安心につながる。

日本は連休を挟むことから、週明けには海外市場の2営業日+当日の時間外取引の変動を受けることになる。ただでさえ原油を中心にボラティリティの高まっている状況であるため、本日はバランス重視で臨むべきであろう。敢えてトレンドに逆らうポジションを取りに行くのであれば、余力を十分に残して仕込み始める必要がある。なお、本日はシティグループとワコピアの決算が予定されている。週明け21日にはバンカメの決算。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年7月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年7月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)